

第十四回 衆議院殖林ノ爲設定シタル地上權登記ニ關スル法律案審查特別委員會速記録 (第一號)

(八〇)

明治三十三年二月三日(土曜)午前十一時二十八分開議

○委員長(山田喜之助君) ツレデハ會議ニ取掛リマセウ

○(磯田和藏君) 私ハ少シ此法案ヲ提出致シマシテ理由、及ビ此地方ノ習慣等ノコトニ就キマシテ、各委員諸君ノ御參考ニ、前以テ御話ヲ致シ置キタウゴザイマス、此吉野郡ニ於キマスル山林殖林ノタメニ設ケマシタル所ノ地上權ト云フモノハ、今ヲ去ルコト四百年以前ノ頃ヨリ行ハレテ居リマスルノデ、ツレハドウ云フ方法ニ致シテアルカト云ヒマスレバ、甲ナル者ノ持ッテ居ル地面ヲ、即チ甲ガ乙者ト約束シテサウシテ、或ル存續期間ヲ定メテ其地所ヲ賣渡スノデス、例ヘバ五十年、七十年、百年、百五十年、若クハ其立木一代限リトスウ云フ契約ヲ以テ賣渡スノデス、賣渡シテ之ヲ買受ケタモノハ、其地上ニ樹木ヲ植付ケテ、地主ハ其契約ニ依ッテドウ云フ利益ヲ得ルカト云ヘバ、詰リ其年限ヲ約スル時分ニ、山手金ト云フヤウナモノヲ幾何カ定メテ、ツレヲ受取ルノデス、ツレカラシテ又歩金ト稱ヘマシテ、伐木期ニ至リマシテ立木代價ノ三分ノ一若クハ二十分ノ一、是ハマア其土地ニ依ッテ一定シテハ居リマセヌケレドモ、十分ノ一若クハ二十分ノ一ト云フ皆伐ノ時ニ立木ノ賣代金ノ歩合ヲ貰フ、ツレハマア地主ノ方ノ利益トスル所デ、サウ致シマシテ一方立木ノ所有者ニ對スル制度ガドウナッテ居リマシタカト申シマスル、其立木ヲ植付ケタモノガ即チ今ノ地上權者デゴザイマス、ツレハ立木ヲ又自分ガ伐木期マデ持ッテ居テ伐木スルノガアリマスレバ、中途デ他人ニ賣渡スコトガアル、他人ニ賣渡シマス時分ハ、立木ノ所有權ト地上權ト共ニ第三者ニ賣渡シマス、サウシテ其賣渡證書ニハ、時ノ庄屋年寄ナドガ與書調印シテサウシテ賣渡シタ、斯ウナル最初地上權設定ノ當時ノ證書ニモ、庄屋ナリ年寄ハ與印シテ居ル、後ニ第三者ニ賣渡ス時分ニモ、其通リ與書シテ賣渡シマス、是ハ獨リ賣買ノミニ限リマセズ、立木ノ所有者ガ、一時其立木ヲ抵當若クハ質入ヲシテ金融ヲシマスル時分ニモ、矢張庄屋ナリ年寄ガ與書調印シテ居ル、サウ云フコトデ、維新前マデハズツト行ハレ來ッタ、維新後ハドウデアルカト云フト、維新後モ矢張其通リ公吏ノ名稱ハ變ッテ居ルガ、村長戸長副戸長トナッテ居リマシテ、ツレ等ガズツト調印シテ賣買ヲシ來ッタモノデアリマス、是カラシテ立木ノ所有者ハ土地ノ所有者ト間ニ紛議ヲ生ジタト云フコトハ、餘リ餘計ナイノデス、サウ云フ慣行ガズツト行ハレ來ッタモノデアリマスカラ——然ルニ明治十八年ニ不動產登記法ガ發布ニナッタデゴザイマス、茲ニ至ッテ大變困難ナコトガ起ッテ來タ、何ゼカト云ヒマスル、從前立木ニ付イテハ賣買カラ質入書入カラ、皆村役場ノ方デアリ書調印シテ取扱ヒ來ッタノヲ、登記法ガ出來タモノデアリマスカラ——不動產登記法ガ出來テ裁判所デア扱フコトニナッテ來タ所ガ、其登記法中ニハ、立木ノ賣買ニ付イテノ制ガナカッタデゴザイマス、

ツレカラ致シマシテ、狡猾ナル地主ハ其立木ノ登記ノ制ガナイモノデアリマスカラ、其土地ノ所有權ヲ第三者ニ賣渡ス、第三者ニ賣渡ス時分ニ其證書ニハ土地ト、ツレカラ立木ヲ共ニ賣渡スヤウナ體裁ニナッテ居ル、或ハ立木附キ或ハ立木有リ姿ノモノヲ書加ヘテ、土地ヲ第三者ニ賣渡ス、サウスルト第三者ハ其證書ヲ以テ、立木ハ自分ノ物デアルト斯ウナッテ來ル、サウシマスル立木ノ所有者ハ登記法ガナイモノデアリマスカラシテ、自分ノ所有デアルト云フコトハ證明ガ甚ダ困難ニナッテ來ル、何ゼカト云フタナラバ、一般ハ此土地所有者ト立木所有者ト同一デ、異ナルモノデナイノガ、當リ前デアリマスカラ、殊ニ立木ハ自分ノ物デアルト云フコトヲ說クニ大變困難ニナッテ來ル、ツレカラシテ其後司法省ニ特ニ請願ヲ致シマシテ、サウシテ司法省カラ明治二十三年ノ十二月ニ、漸クニシテ立木モ明治八年ノ建家賣渡質入書入規則ニ準ジテ、サウシテ登記ヲスルコトニセヨト、殊ニ特例ヲ設ケラレテ訓令見タヤウナモノヲ裁判所ニ發シテ、サウシテ今ノ區域内ノ登記所ニツレヲ登記シテ居ッタ、ツレデ村々デ皆立木ノ臺帳ヲ拵ヘテ、ツレデ證明シテ賣買トカ抵當トカ云フヤウナコトニ、皆登記ヲシテ居ッタノデアリマス、所ガ今度新民法ガ發布ニナリマシタ、續イテ登記法ト云フモノガ出來タ、所デ又立木ノ登記ト云フコトニ付イテ、法律ハ何等ノ規定モナイノデアリマス、ナイノミナラズ今ノ實施期限ノ齟齬デ——民法ト民法施行法ト登記法ト實施期限ノ齟齬ノタメニ、法律上一箇年ノ猶豫ヲ與ヘラレテ居ルト云フモノ、其實ハ一箇月位シカナカッタモノデアリマスカラ、吉野郡ニ於キマスル山林ハサウ云フ關係ガアルノデゴザイマスカラ、ツンナモノヲ三十日ヤ五十日デ登記ノ出來ル筈ハナシ、シマスカラ、遂ニ登記ノ何ガ出來ナカッタコトニナッテ居ル、ツコデ又明治十八年ニ先ノ不動產登記法ノ出タ時分ニ起ッテ來タヤウナ弊害ガ、又ボツ／＼萌シテ地主ガ第三者ト結託シテ、サウシテ土地ヲ他人ニ賣渡ス、斯ウ云フコトニナッテ來マシタ、サウスルト云フト立木ノ所有者ハ、一向立木ノ所有權ヲ全フスルコトノ出來ヌコトガアルノ恐レガアルノデゴザイマス、併シ其地上權ノ登記サヘシテ置キマスレバ、ツレデ地上權ハ全フ出來マスガ、ツレハ民法施行法ノ規定ニ依ッテ、期限ガ過去ッテシマッタト云フコトデ、地主ノ方デ容易ニツレニ應ジナイ、應ジナイノミナラズ一方デハサウ云フ奸策ヲ行ッテ、立木ノ所有權ヲ奪フト云フ惡弊ガ、今日續々ト起ラントシテ居ル——起ラントシテ居ルノデナイ、既ニ訴訟ニナッテ居ル、シテ居ル者モアル、又今ヤツレ等ヲ計畫シテ居ルモノモアルト云フヤウナ困難ナコトニナッテ來タ、ツコデ其吉野郡ノ山林ノ所有者間ニハ、一大恐慌ヲ來シテ居ルノデゴザイマス、何ゼカト云ヒマスレバ、從前ハ登記法ガアリマシタカラシテ、ツレニ依ッテ總テノ賣買質入書入等ノコトニ差支ナカッタカラシテ、從ッテ金融上ニモ大變

便利デアッタノデアリマス、所ガ今日ノ場合デハ總テ山林ヲ——立木ヲ抵當ニシテ金ヲ貸スト云フコトハ、一モナイヤウニナツテ來タノミナラズ、從來立木ヲ所有シテ居ッタモノモ、甚ダ今日デハ危險ナ地位ニナツタモノデアリマスカラ、モウ山ヲ持ツコトハ甚ダ危險デアル、斯ウ云フヤウナコトデ、先ヅ是迄持ツテ居ル者モ安ク賣ツテ仕舞フト云フヤウナ有様ニナル、其極延イテ殖林ノ事業ニ大變ナ影響ヲ及スコト、ニナルデアリマス、ソレデドウシテモ此際ニシテ、一ツ弊害ヲ救フテカラニ、從來ノ立木所有者ニ何カ救済法ヲ設ケテ與ヘンケレバ、今日マデ都合好ク發達シ來ッタ所ノ、此殖林事業ト云フモノヲ一朝ニシテ衰滅ニ歸スルト云フヤウナコトハ必然ナコトデアル、斯ウ云フコトカラシテ、遂ニ本案ヲ提出スル場合ニナツタデアリマス、此法文ニ依リマスレバ、地上權者ノミノ規定ト云フコトニナツテ居リマスカラ、一般ノ法理カラ云ヒマスルト、ドウモ其相手が連署シナケレバ不都合デアラウト、斯ウ云フ議論モナキニシモアラズデゴザイマス、ケレドモソレハ其代リ第二項ニ、確實ニ地上權者ノ權利ノアルコトヲ證スルニ足ルベキ書面ニ限ッテスルト云フコトニシマスレバ、別段何ニモスマイト思ヒマス云フノハ、其書類ト云フモノハドウ云フモノヲ稱スルカト云フニ、地上權ヲ設定シタナラバ、以前庄屋戸長ナリ副戸長ナリ若シ與書調印ヲスルヤウニナリマスレバ、登記ヲシマス、サウ云フコトニナリマスレバ、ソレヲ以テ幾分カ登記ヲ許スト云フコトニシマスルナラバ、敢テ差支ナイト斯ウ信ジテ居リマス、概略右様ノ次第デ本案ヲ提出シマシタ譯デアリマスカラ、ドウカ御審議ノ末本會ニ於テ速ニ御決議ニナツテ、本期議會ニ此案ノ通過シマスルヤウニ願ヒタイ、尙御尋ニ從ヒマシテ盡キマセヌ所ハ申上マス

○政府委員(波多野敬直君) 登記訓令ニ依テ登記スル前ハドウシマシタ
○(磯田和藏君) 其前ハ戸長副戸長ツレカラシテ數箇村連合シテ役場ヲ置キマシタ、十長年番ト云フ者ガアリマシタ、サウ云フ者ガ皆與書ヲシテ居ッタ
○政府委員(波多野敬直君) サウスルト其與書ヲシテ居ッタ者ハ、登記ヲシタト云フコトデナイノデスカ
○(磯田和藏君) 登記ハ十八年以後ノコトデアリマス、十八年ニ不動産ノ登記法ガ出來タ、其以前ハ登記法ガアリマセヌ、ソレガ所謂公示法デアリマス、村方ニハ帳簿ガアツテ、サウシテソレト賣買ノ證書ニ與書調印シテ、サウシテ取引ヲスルノデアリマスカラ、ソレガ一ツノ公示法ニナツテ居ッタ、ソレカラ登記法ガ出來マシタ以後ハ、前來申シマス通り弊害ガ起ツタカラ、ソレデ司法省ニ請願ヲシテ、アノ登記例ヲ設ケテ貰ッテ、サウシテ登記スル、斯ウ云フコトニナツタ

○政府委員(梅謙次郎君) 此案ハ明治三十三年三月一日ヨリ施行ストアリマスレバ、一年內ニ登記セヨト云フコトデ濟ンデシマッタ、其期限カラ過ギマシテ今日マデ、例ヘバ之ヲチョット賣買シタトカ何トカシテ居ルコトハ、ナイデスカ

○(磯田和藏君) ソレハ多ク登記ハ出來ナイト云フコトニナツテハ居ルカラ、出來テ居ルマイト思ヒマス云フノハ、登記ガ出來マスカラシテ買主モ安心シテ金ヲ掛ケマス、又抵當質物等ニ入レマスニモ、債權者ガ安心シテワレヲ請取ルト云フノハ、登記ヲスルカラデアリマス、登記ガ出來ナケレバ一方ニ地主ト第三者ガ結託シテ、土地ヲ移シテ取ラウト云フヤウナ惡弊モ行ハントシテ居ル場合デアリマスカラ、今デハ山林ヲ買フト云フモノハ少ナイ、從ツテ賣買ガ出來テ居リマスマイ、併ナガラ材木屋ガ伐木期ニ至ツテ買フトハ、ソレハシテ居リマス、永久ニ所持スル目的ヲ以テ賣買スルモノハ、買賣ガ止ンデ居ル位デアリマス

○政府委員(梅謙次郎君) 立木所有者有ツテ居ル者ガ、其權利ガ止ンデ居ルト致シマシテ、土地ヲ賣買スルト云フコトガアツテ、其賣買ガ登記ガ濟ンデ居ルト云フモノガアリサウト思ヒマスガ、ナイデアリマスカ

○(磯田和藏君) 先ヅ吉野ニ於キマシテハ、土地ノ賣買ト云フモノハ、立木ヲ有ツテ居ル者ガ存續權ヲ定メテ有ツテ居ッタガ、其期ニ至ツテ伐木シナイ、シナイ時分ニハ、契約ヲ解クト云フコトハアリマスケレドモ、ドノ途サウ云フコトハアルト云フコトハナイ

○政府委員(梅謙次郎君) 若シ土地ノ買主ガ立木ニ關スル登記ガアルカラ、自由ノ土地ト思ッテ買ッテ居ッタガ、此法律ガ出タメニ地上權ガ第三者ニ對抗シ得ラレルコトニナツタ、自由ノ土地ト思ッタノガ、地上權ガ附屬シテ詰リ既得權ヲ害スルト云フコトガナイデアリマセウカ、サウ云フ處ガナイトモ言ヘナイ

○(磯田和藏君) アルト既得權ヲ害スルガ……

○委員長(山田喜之助君) ソレハ途中デ申上ゲルヤウデアリマスガ、幾分カアルト認メテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、善意デ以テシタ所ガ實ハ惡意デアリマシタ所ガ、其惡意ヲ證明スルコトガ出來ナイ、先ヅ善意ト見ナケレバナラヌト思ヒマス

○(磯田和藏君) 吉野郡ハ土地ノミヲ離シテ、土地ノ所有權ノ賣買ト云フコトハ行ハレテ居ラヌト云ツテモ宜シイ、所ガ今ノ惡意ノ地主ガ第三者ト結託シテ、他人ガ有ツテ居ル立木ノ所有權ヲ奪ハウトスル手段ヨリシテ、地面ノミ第三者ニ移シタモノガ多少アルト思ヒマス、ソレハケレドモ真正ノ善意ヲ以テ土地ノ賣買ヲシテ居ルト云フコトハ、アノ土地デハアリマセヌ、是マデ行ハレテ居リマセヌト云フノハ、土地バカリノ何デモ所有權ノ利益ハ僅少デアリマスカラ、ソレデ金ヲ有タシテ買フト云フコトハ、餘リ行ハレテ居リマセヌ

○政府委員(梅謙次郎君) 今一ツ伺ヒマス、此法案ガ極ク廣クナツテ居ル、吉野郡ト云フダケデナク、廣ク殖林ノタメ設定シタル地上權トナツテ居リマス、適用ハ吉野郡程多イ場所ハアリマスマイ、他ニモアリ得ルト思ヒマス、他ノ土地デアリマスレバ、從來モ登記シテ居ラズサウシテ唯今御話ニナツタ

ヤウナ特別ノ地所ガナイニモ拘ラズ、此法案ガ愈々法律トナッテ出マスルト、其施行期日前ニ適法ニ登記シタル第三者ノ權利ガ害セラル、ト云フ結果ニナルノデアリマス、ソレデ差支ヘヌト云フ見込デアリマセウカ

○(磯田和藏君) 他ノ地方デハ餘計アリマセヌヤウデアリマス、高知徳島島取トカ三重トカ云フヤウナ處ニハ、多少アルヤウデアリマス、ソレ等ノ地方デハ今日ノ所デハ、サウ云フ處ハアマリナイヤウデアリマス

○委員長(山田喜之助君) 併シサウ云フコトハナイカモ知レヌガ、矢張アルモノト見テ、善意ノ第三者ヲ害シナイダケノ規定ヲ、此處ニ加ヘテ置クコトガ必要ト思ヒマス

○(磯田和藏君) ソレハ必ズシモ各地ニナイト云フコトハ言ヘマセヌ、又今ナイト云フテモ、後ニ出來ルカモ知レマセヌ

○(本間直君) 政府委員ニ質問シタイ、質問ト云フヨリモ御伺ヒヲシタイデスガ、此吉野郡ノ森林ト云フモノハ、今民法制定ノ上ノ地上權ト云フモノト、提出者ハ斷定シテ居マスガ、地役權ト云フモノト地上權ト云フモノ、區別ハ、ドウ云フコトニ見テ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 地役權ト申スモノハ、甲ノ土地ノ利益ノためニ乙ノ土地ヲ使用スルト云フノ地役權トシテ、地上權ト申シマスルノハ、他人ノ土地ノ上ニ耕作物若クハ竹木ヲ植エタルメニ、其土地ヲ使用スルト云フコトデアリマス、是ハ土地ノ利益デナク他人ノ利益ト云フコトデアリマス

○(本間直君) シマスルト、斯ウ云フモノガ奈良縣杯デハ澤山ゴザイマスガ、茲ニ一ツノ山ガアル、此山ハ何某ノ共有財産デアル、此所有人ガ其山地ニ至ッテ柴木ヲ取リ、若クハ他人ヲシテ取ラシムルガ如キハ、最モ其勞費ヲ償ハヌカラ、其接續地即チ乙地ノ人ニ取ラセル契約ガ、往古ヨリ奈良縣山間部ニハ行ハレテ居リマスガ、其乙地ノ人ノ權利ハ、地役權ト云ヒマスカ、地上權ト云ヒマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 唯今ノハ少シ了解シ兼マスガ、斯ウ云フ場合デゴザリマスカ、共有ニ屬シテ居ル山ガアル、ソコノ芝草ヲ取ル權利ヲ他人ニ讓ッテアル、相當ノ報酬ヲ取ッテアリマセウガ……其他人ガ山ニ參ッテ芝草ヲ取ル權利ハ、地役權ナルヤ否ヤト云フ御問デゴザリマスカ

○(本間直君) サウデス

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ地役權ト云フモノデナイ積リデス、ソレハ場合ニ依テ契約ノ性質ガ違フカモ知レマセヌケレドモ、或ハ其芝草ヲ取リ上デ買取ル主意デアルケレドモ、コチラカラ買取ッテアルノデナク、買主ガ自分ニ取リテ宜シイト云フ權利、斯ウ云フコトニ見ルベキ場合ガ多カラウト思ヒマスガ、兎ニ角地役ト云フモノデナイ積リデアリマス、所謂入會權ト申スモノガアッテ、入會權ノ内デ、共有者ガ自己ノ共有ノ山ニ這入ッテ芝草ヲ取取ルト云フコトモアリマス、是ハ純然タル共有問題デゴザイマス、サウデナクシテ唯今御話ノヤウナ、他人ノ所有ノ土地、例ヘバ一村ノ人民ナラ一村

ノ人民、ソレハ隣村ノ人民デモ宜シイ、入會フテ芝草ヲ取ル權利ヲ有ツト云フノハ、共有デナイイトコロノ入會權デアリマス、是ハ民法ノ規定ニアル地役權ト性質ヲ異ニシテ居リマスガ、學理上ハ地役權ト見テ居ル、ソレガ慣習ニ依ルノガ本則デアリマスガ、慣習ガ定マラナイイトキハ地役權ノ規定ニ依ルト云フコトニナッテ居ル、其場合デハアリマセヌカ

○(磯田和藏君) 政府委員ニ御尋ネ致シマスガ、政府ニ於キマシテハ此案ニ對スル御意見ハ如何デスカ

○政府委員(波多野敬直君) 本案ノ大體ニ就キマシテハ、敢テ不同意ト云フ譯デハナイ、併シナガラ唯今御提出ニナッテ居リマス案ノ儘デハ不十分ノ所ガアル、ソレデ幾ラカ御協議ガ届クナラ修正ヲシテ、其上デドウカシタイト云フ希望ガアリマス

○(磯田和藏君) ソレデハ修正ニ就テノ御意見ヲ御聞カセヲ願ヒタウゴザイマス

○政府委員(波多野敬直君) 此第一項ノ二年トアルノヲ一年ニ改メタイ、是ハ固ヨリ地上權者ノミデ申請ニ依ルト云フモノハ是ハ變例デアリマスカラ、長ク斯様ナコトヲ續ケルモノデナイ、一日モ早ク本法ニ復シタイト思フ、又吉野郡ニハ存木ガ澤山アルト云フコトデアリマスガ、一年カ、レバ出來ヤウト思ヒマス、ソレデ一年ニ改メタイ、ソレカラ第二項ノ所ニ至リマシテ「其權利ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スルコトヲ要ス」トアル此證明書類ト云フモノハ、漠然トシテ何百年前ノ古證文ヲ持テ來テモ、セネバナラヌト云フヤウナコトニナリハシマスマイカ、ソレデ之ヲ幾ラカ制限ヲ加ヘマシテ「其ノ權利ヲ有スルコトヲ證スルニ足ルヘキ官廳又ハ公署ノ書面ヲ添付スルコトヲ要ス」ト斯ウ致シマス、例ヘバ明治二十六年以來登記ヲナシテ居ッタナラ、其登記書類ヲ持テ來ルトカ、或ハ區長村長ノ奥印シタコトデアラナラ、ソレヲ添ヘテ來ルト云フコトニナッテヨカラウト思フ、ソレカラ今梅君ガ申サレマシタ、既得權ノコトデゴザリマス、是ハ未ダ司法省ノ方デハ案ハ作ッテ居リマセヌ、是ハ梅君ト御相談ヲシタイノデアリマス、ソレカラ此附則ノ「本法ハ明治三十三年三月十日ヨリ之ヲ施行ス」トゴザリマス、此施行期限ヲ附ケラレタ主意ガ分ラヌ、矢張普通ノ期限デハ善クアルマイカ、即チ頒布シテカラ何日ト云フコトガゴザリマスカラ、三月十日マデ延バヌニ及バナイ、是ハドウ云フ主意デ三月十日ト御極メニナッタカ、其譯ガ分リマセヌ

○(磯田和藏君) 此二箇年ト云フコトニ致シマシタノハ、實ハ所有者ノ立木ノ地上權ト、土地ノアル所トハ大變隔絶シテ居ッテ、二十里モ三十里モ隔ッテ地上權ヲ持ッテ居ルノガ澤山アル、而シテ其件數ハナカク、數十万件ニ涉ッテ居リマス、而シテ山林ノ所有地ト登記所トノ距離ト云フモノハ、遠イ所ハ十里モ十四五里モ隔ッタ所ガアル、餘程是等ハ悉ク攻究致シマスルニハ時間ヲ要スル、ソレデ二年ト云フコトニ致シタノデゴザイマス、ソレカラ實施期限ニ付キマシテハ、何カナシニ入レマシタノデ、發布ノ當日ヨリト云フコト

ニナリマスレバ、ツレデモ宜シウゴザイマス、ツレカラ第二項ノ前項ノ申請ヲ爲スニハ、其權利ヲ證スルニ足ルベキ官廳又ハ公署ノ書面ヲ添付スルコトヲ要ス、是ハ法文ニ依リマス云フト、權利ヲ證スルニ足ルベキ書面ヲ添付云々トゴザイマスガ、此精神ハ地上權ノ設定シタ證書ニモ、庄屋、年寄、戸長、副戸長ガ連署シテ居リマス、ツレカラ登記ヲシマシタ後ノモノガ、總テ登記シタ證據ガアリマス、サウ云フモノト云フ考デ、詳ニ法文ニハ書キマセヌガ、唯今ノ御修正ノ何ト精神ニ至ッテハ變リマセヌ、是モサウ御修正ニナシマシテモ、差支ナイト思ヒマス

○委員長(山田喜之助君) 差支ナケレバ政府ト御同意ノ出來ルヤウニ願ヒタイ

○政府委員(波多野敬直君) 一言申シ上ケテ置キマスガ、權利ヲ有スルコトヲ證スルニ足ルベキ官廳又ハ公署ノ書面トシマスノハ、是マデ承ル所ニ依レバ地上權ノ約束ハナイ、矢張立木ノ賣買登記トカ云フモノデ、其地面ヲドウスルト云フ地上權ノ契約トハ少シ違ッテ居リマス、ツレデ申請ヲ爲スニハ、其權利ヲ證スルコト云フタ分デハ、其權利ト云フ地上權ノ權利ヲ證スルコト云フコトガ、例ヘバ立木ノ登記ヲシタトアリマシテモ、或ハ立木ヲ賣買シテモ、直チニ地上權ノ權利ヲ證スルコト云フコトニハムヅカシカラウ、ツレデ權利ヲ有スルコトヲ證スルコト柔ゲマシタノハ、今立木シテ居ル而シテ地上權ノ權利ヲ有スルコトヲ、證スルニ足リルト云フ言葉ヲ柔ゲタノデアリマス

○委員長(山田喜之助君) 政府ノ趣意ハ如何ニモ善イヤウニ思ヒマスガ、文字ノ上ニ於テ官廳又ハ公署ノ書面ヲ添付スルコト云フダケハ狹過ギハシナイカト思ヒマス、奥書シタモノ戸長トカ公吏ノ奥書シタ證書ハ、官廳又ハ公署ノ書面ト云ッテ差支アリマセヌガ、皆サンガ疑ガナイト云フナラ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(梅謙次郎君) 從來ノ用語ノ例ハ實ハ餘リ知リマセヌガ、奥書ノアルモノヲ、官廳又ハ公署ノ書面ト云ヒ來ッテ居ルナラ差支ナイガ、理窟カラ言フト疑ハシイ

○委員長(山田喜之助君) 同ジ意味ナラ斯様ニ修正シタラドウデス、官廳公署ノ書面又ハ官吏公吏ノ奥書シタル書面ト云フコトニシタラドウデス

○(磯田和藏君) 賣買ノ證書トカ、地上權設定ノ元ノ證書ハ、此中ニ這入ラナイト云フ疑ヒハアリハシマイカ

○委員長(山田喜之助君) 嚴重ニ解釋スルト足ルマイト思ヒマス、原本ハ昔ハアツタカ知ラヌガ、役所ノ變遷ト共ニ今無イニ違ヒナイ、何レ其時ハ保存シテアツタラウト思ヒマスガ、自今ハアルマイ、政府ニ御不同意デナケレバ、サウコトニ改メタラ疑ヲ除クダケノ利益ハアリマスナ

○政府委員(梅謙次郎君) 登記所ニ送レバ登記所デ認識シテ居ル、實質ニ於テハ原本ガナイモノニハ、疑ッテ見ルト間違ガアリ易イカラ、サウ云フモノヲ除ク趣意ナラバ格別

○政府委員(波多野敬直君) 戸長ノ奥書ナドハ除カヌ積リ

○政府委員(梅謙次郎君) サウスレバ認證ノ方ガ穩カモ知ラン

○委員長(山田喜之助君) スウシテ見タラドウデス、官吏公吏ノ認證シタル書面ト云フコトニ、成ルベクハ政府ト同一ノ意見ニナッテ、餘リ修正ナドノ起ラヌ方ガ宜カラウト思ヒマス

○政府委員(波多野敬直君) 二年ハ一年ニ御短縮アラシコトヲ希望スル、成程今十里アルトカ二十里アルト云フ御話デアリマスケレドモ、今日十里ノ道ヲ一日モ掛ッテ歩クノデナク、十里ト云フテモ十里トシテ吉野郡ノ山奥ニデモ、二日モ掛レバ行クダロウト思フ、且又十萬ト云フノハ吉野郡全體ノ登記立木ノ件數デアツテ、一人一人ニ割リマスレバ、一人シテ十萬二十萬アルト云フコトデアアルマイト思ヒマス、斯様ナ特別ノ規定ヲ長ク存續スルコトハ、一方法好マヌ譯デアリマス

○政府委員(梅謙次郎君) 殊ニ附加シテ申シマスガ、所有者ノ承諾ヲ經テ連署シテ申請センナラヌト云フト、其談判ニ時日ヲ費シマスカラ、特ニ長キ期間ヲ要シマスガ、此法案ガ通過致シマシテ、地上權者ノミデ申請ガ出來ルコトニナレバ、畢竟其地上權者ガ登記所ニ行ッテ登記ヲ請フニ必要ナル期間サヘアレバ宜イノデスカラ、一年アレバ十分ナヤウニ考ヘマスカラ

○委員長(山田喜之助君) 一年デ宜イカ知リマセヌネ

○(本間直君) 一年デ宜シウゴザイマセウ

○委員長(山田喜之助君) 梅政府委員ガ御注意ノコトハ、御相談ノ上書加ヘマセウ、此處デ書加ヘタラ後トデ苦情ガナイデセウ

○(磯田和藏君) 二箇年ト云フコトハ政府ノ方デハ餘程御差支ニナリマスガ

○政府委員(波多野敬直君) 差支フルコトハナイデスガ、併シナガラ是ハ大概斯様ナモノハ、一箇年ノ期限ヲ與ヘタナラバ是ガ出來ナイコトハナイ、法律デ二箇年與ヘタ所ガ、二箇年ノ終リニナッテゴタノスルダケデ、何モ此法律ガ出タカラドウト云フコトハナイト思ヒマス、斯ノ如キ特別ノ法律ハ早ク無効ニシテ仕舞ッテ、本法ニ復シタイノガ趣意デアリマス、ツレモ到底出來ナイ御相談ナラバ致サヌケレドモ、一年アレバ出來ヌコトハナイ、一人デ二十萬件持ッテ居レバ出來ナイコトモアルガ奈良縣ノ林業デモ一人デナイ、各人ニ割ルト一人ニ付イテ成程、一三人ハ澤山持ッテゴザル方ガアリマセウガ、二年モ掛ラナケレバ出來ヌト云フコトハアルマイト思ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) ツレカラ第三者ノ權利ヲ保護スルニ付キマシテハ「地上權者」ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得但本法施行前ニ適法ニ登記シタル第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得スト致シマスレバ、私ノ先程申シマシタ懸念ハナクナリマス

○委員長(山田喜之助君) ドウモツレハ必要ダラウト思ヒマス、實際件數ハ多クアルマイト思ヒマス、先ヅアリ得ルモノト認メナケレバナラヌ、尤モ善意ノヤウナ顔ヲシテ惡意ノ時ニハ、其一點ニ預カラヌ

○政府委員(梅謙次郎君) 其法律行為ソレ自身詐欺アルコトナラバ、無効ト見ラレマスカ……

○委員長(山田喜之助君) 奈良縣ノ如キ習慣其他ノ事情モアレバ、善意デナイ場合ガアレバ、其證據ガ舉リマセウ

○(磯田和藏君) 是ハサウスルト、昨年七月十六日カラシテ以後今日迄ノ此法律ノ出ル迄ノ間ニ出来タモノデ

○政府委員(梅謙次郎君) 詰リサウナリマス

○(西原清東君) 適法ガ要リマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 若シ法律行為ソレ自身ガ無効デアルト云フ場合ニハ、登記モ無効ニナリマスカラ

○委員長(山田喜之助君) ソレデハ今ノ梅サンノ言ハレタ但書ヲ入レマセウ

○政府委員(梅謙次郎君) サウシテ附則ヲ御削リニナッタ方ガ宜イデセウ

○委員長(山田喜之助君) ソレハ削ッタ方ガ宜シイ、サウスルト修正ニ成ッタ文章ハ斯ウナリマス

不動産登記法施行前ニ殖林ノ爲設定シタル地上權ノ登記ハ本法施行ノ日より一箇年内ニ限り地上權者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

但本法施行前ニ適法ニ登記シタル第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス

前項ノ申請ヲナスニハ其權利ヲ有スルコトヲ證スルニ足ルヘキ官吏又ハ公吏ノ認證シタル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

○委員長(山田喜之助君) 是デ御異存ハゴザイマスマイ、是デ決議ト認メテ宜シウゴザイマスカ、政府モ同意デアリマスカラ

(一同「異議ナシ」ト呼フ)

○委員長(山田喜之助君) ソレデハ此趣ヲ報告致シマス、是デ委員會ヲ終リマス

午後零時二十四分散會

明治三十三年二月二十七日印刷

明治三十三年二月二十七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局